ボーリング柱状図

調　査　名　豊洲新市場予定地における土壌・地下水詳細調査（その3）

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	P2-1	調査位置	東京都江東区豊洲六丁目地内			北緯	
発注機関	東京都中央卸売市場			調査期間	平成 20年 3月 26日 ～ 20年 3月 26日	東経	
調査業者名	日立プラント建設サービス株式会社 電話（03-5424-2121）	主任技師	[redacted]	現場代理人	[redacted]	コア鑑定者	[redacted]	ボーリング責任者	[redacted]
孔口標高	AP 6.55m	角度	180°上 90° 下 0°	方向	北 0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機 エコプローブ / ハンマー落下用具 / エンジン / ポンプ
総掘進長	10.50m								

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対硬度	記事
1					盛土（礫混じり粘土）	暗灰～暗褐			0.3mまで砂礫主体 0.3～2.3m間、暗褐を呈し、礫混じり粘土主体 2.3～2.5m間、コンクリートガラを含む 2.5～3.2m間、黄褐のロームと暗灰のシルトが雑多に混入
2									
3	3.35	3.20	3.20						
4					埋土（礫混じりシルト）	暗灰			3.3～3.4m間、木片を挟む、著しい異臭あり 3.4～4m間、暗灰の礫混じりシルト主体 4～4.4m間、油と強い異臭で黒灰に変色 4.4～5.4m間、礫混じりシルト主体、φ20～40mm程度の亜円礫を多く含む 5.4～6.7m間、シルト混じり砂主体、雑多に小礫を混入 土の間隙に油を多く含み、強い異臭がある
5									
6	-0.15	3.50	6.70						
7					埋土(細砂)	暗灰			粒子ほぼ均一 全体に貝殻細片を多く含むが、7.7m以深からは混入が少なくなる この付近からシルト分が多くなる 土の間隙に油を含み、強い異臭がある
8	-1.45	1.30	8.00		粘土質シルト	暗灰			粘性中、含水中 少量の貝殻細片を含む 8.8m以深、砂を不規則に混入 油膜認められず、異臭も感じられない
9	-2.45	1.00	9.00		シルト質砂	暗灰			全体に貝殻片を含むが、10～10.3m間に顕著に含まれる 含水多い 油膜は認められないが、異臭がある 10m以深からは僅かに異臭が感じられる
10	-3.75	1.30	10.30						
	-3.95	0.20	10.50		砂混じりシルト	暗灰			砂を不規則に混入 少量の貝殻細片を含む 油臭なし、異臭僅か
11									
12									
13									
14									

孔内水位(m)／測定月日：3/26 3.39

標準貫入試験 深度(m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値 0 10 20 30 40 50 60

原位置試験 深度(m)	試験名および結果

試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法

室内試験（　）

掘進月日：3/18

ボーリング柱状図

調　査　名　豊洲新市場予定地における土壌・地下水詳細調査（その3）

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	P2-2	調査位置	東京都江東区豊洲六丁目地内			北緯	
発注機関	東京都中央卸売市場			調査期間	平成 20年 3月 27日 ～ 20年 3月 27日	東経	
調査業者名	日立プラント建設サービス株式会社 電話（03-5424-2121）	主任技師	[redacted]	現場代理人	[redacted]	コア鑑定者	[redacted]	ボーリング責任者	[redacted]
孔口標高	AP 6.62m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	
総掘進長	10.50m								

試錐機	エコプローブ	ハンマー落下用具	
エンジン		ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1					盛土（撹混じり粘土）	暗灰～暗褐灰			粘性土主体 0.9mまで礫、ガラを多く混入 1m以深、φ20mm程度の円礫を混入 2.4m付近、木片を混入 2.9m付近、φ80mm程度のコンクリートガラを挟む 3～3.2m間、粗粒の砂及びガラ、礫を混入
2									
3	3.42	3.20	3.20						
4					埋土（撹混じりシルト）	黄褐灰～暗褐灰～暗灰			3.5～3.7m間、コンクリートガラ 3.8mからシルト主体、陶器片、礫、ガラ、貝殻片、木片を極多に混入 5m以深から砂混じりシルト主体 この付近から異臭が感じられる
5									
6	0.62	2.80	6.00						
7	-0.78	1.40	7.40		シルト質砂	暗灰			液状土の様相を呈す 含水多い、粒径ほぼ均一 貝殻細片を混入 5.8mからコンクリートガラ混入 7.2m付近からシルトを不規則に混入 この付近から油膜があり、異臭が著しい
8	-2.23	1.45	8.85		粘土質シルト	暗灰			粘性中 所々、砂を薄層状に挟む 8.2～8.4m間、砂質シルト主体
9	-3.68	1.45	10.30		シルト質砂	暗灰			粒子ほぼ均一 全体にシルト分を多く含む 含水多く、貝殻細片を含む 10m以深、シルトの薄層を挟む
10	-3.88	0.20	10.50		砂混じりシルト	暗灰			全体に互層からなる 貝殻片を含む 油膜、異臭なし
11									
12									
13									
14									

孔内水位(m)／測定月日：3/27 3.50

標準貫入試験 深度(m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値 0 10 20 30 40 50 60

原位置試験 深度(m)	試験名および結果

試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法

室内試験（　）

掘進月日

ボーリング柱状図

調　査　名　豊洲新市場予定地における土壌・地下水詳細調査(その3)

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	P2-3	調査位置	東京都江東区豊洲六丁目地内	北緯	
発注機関	東京都中央卸売市場	調査期間	平成 20年 3月 26日 ～ 20年 3月 26日	東経	
調査業者名	日立プラント建設サービス株式会社 電話(03-5424-2121)	主任技師	[redacted]	現場代理人 [redacted]	コア鑑定者 [redacted]	ボーリング責任者 [redacted]
孔口標高	AP 6.53m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 90° 西 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	エコプローブ	ハンマー落下用具	
総掘進長	10.50m								エンジン		ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値 0 10 20 30 40 50 60	原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験(　)	掘進月日
1					盛土(港泥じり粘土)	暗褐			0.7m付近及び2～2.4m間にローム質土を挟む 全体に礫、ガラ等を雑多に含む 1.9m付近に木片を挟む														
2																							
3	3.13	3.40	3.40							3/26 3.55													
4					埋土(港泥じりシルト)	暗灰			3.4～3.6m間、コンクリートガラ主体、コア状にて採取 3.6～3.8m間、旧砕石、砂礫主体 これ以深、港泥じりシルト主体 3.8～4.2m間、油臭、異臭が強い 4.2m以深から色調が暗褐に変化 5.7m付近、コンクリートガラを混入、6m付近まで粘土分が多い 6m以深、礫、砂を多く含むシルト主体 7.3m付近、木片を混入 7.6m以深から砂分の混入が顕著、この付近まで異臭有														
5																							
6																							
7	-1.37	4.50	7.90																				
8	-2.17	0.80	8.70		粘土質シルト	暗灰			7.9～8m間、シルト質砂主体 貝殻細片が多く、強い異臭がある 8.5m付近まで均質、これ以深、砂を不規則に混入 粘性中、含水中														
9					シルト質砂	暗灰			9.7～9.9m間、黒灰を呈し、液薬土の様相を呈す 9～9.3m間、貝殻が密集 全体にシルト分多く、含水多い 油臭、異臭はない														
10	-3.77	1.60	10.30																				
	-3.97	0.20	10.50		砂混じりシルト	暗灰			砂分不規則に多い 粘性中 油臭、異臭なし														
11																							
12																							
13																							
14																							

ボーリング柱状図

調　査　名　豊洲新市場予定地における土壌・地下水詳細調査（その3）

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	P2-4	調査位置	東京都江東区豊洲六丁目地内		北緯
発注機関	東京都中央卸売市場			調査期間	平成 20年 3月 26日 ～ 20年 3月 26日	東経
調査業者名	日立プラント建設サービス株式会社 電話（03-5424-2121）	主任技師	[redacted]	現場代理人	[redacted]	コア鑑定者	[redacted]	ボーリング責任者	[redacted]
孔口標高	AP 6.49m	角度	180°上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	エコプローブ	ハンマー落下用具
総掘進長	10.50m								エンジン		ポンプ

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
1					盛土（礫混じり粘土）	暗灰～暗褐灰			粘性土(ローム)主体 全体に礫、ガラ混入 2.2～2.3m間、コンクリートガラを挟む	
2	3.69	2.80	2.80							
3					堤土（礫混じりシルト）	黄褐灰～暗褐灰～暗灰			2.8～3.6m間、シルト質砂主体 3.6m以深、粘性土主体、ガラ、礫、レンガ片、貝殻を雑多に混入 5m以深、砂を不規則に混入 シンダ、ガラス片を多く混入 5.1m付近、鋼板混入 7.5m以深から礫を多く混入する 8～8.1m間、コンクリートガラを挟む	3/26 6.50
4										
5										
6										
7										
8										
9	-2.51	6.20	9.00		シルト質細砂	暗灰			9～9.2m間、シルトを挟む 粒径ほぼ均一、含水多い 貝殻片を混入 部分的に腐植物及び炭化物を混入	
10	-3.71	1.20	10.20							
	-4.01	0.30	10.50		砂混じりシルト	暗灰			10.3m以深、シルトと砂の互層からなる 粘性中、含水中 砂を不規則に混入	
11										
12										
13										
14										

標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値 0 10 20 30 40 50 60	原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日